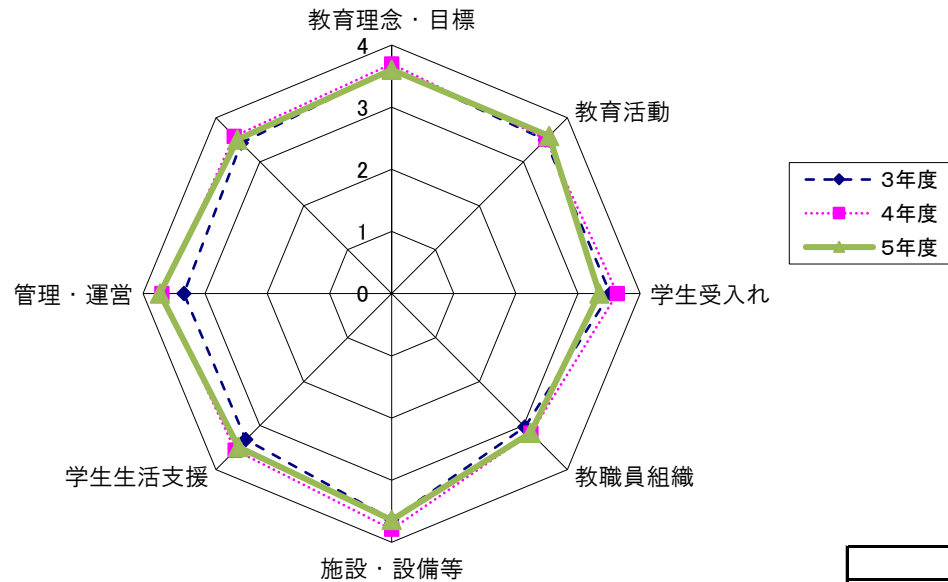


令和5年度 下田看護専門学校 自己点検・自己評価



	3年度	4年度	5年度
教育理念・目標	3.63	3.70	3.60
教育活動	3.50	3.51	3.58
学生受入れ	3.52	3.63	3.35
教職員組織	3.04	3.17	3.17
施設・設備等	3.63	3.79	3.64
学生生活支援	3.32	3.56	3.49
管理・運営	3.34	3.70	3.73
平均(4点満点)	3.43	3.58	3.51

総合評価

今年度も、中項目において、3点未満の得点がなかった。  
 昨年度から教員の人員数としては充足し、教員の定数確保が3年目に入った。  
 ただし、静岡県からは、資格取得中の教員が1名おり、専任教員不足との指摘を受けている。  
 業務のバランスの課題は続いており、更に学生指導の複雑化による教員のかかわりの煩雑さは、年を追うごとに増加している。  
 これは、学生の主体性および学力の低下に伴い、学生への携わりの度合いが累乗的に増していることが要因である。学生数は大きく減少しているが、労力は全く減少しない状況は、問題の複雑さを表している。  
 その中で、少しでも学生の向上を図る様注力していることが、人的にも質的にも負担を増加させている。  
 令和2年度以降学生の定員割れが続いているが、今年度は、新入生が定員の4割を下回り一層、学生の定員確保が、深刻な課題となった。学校の抱えるディスアドバンテージと少子化過疎化といった外的要因が複雑にからみ、今後の募集の困難さを顕在化させている。